

## マダラナガカメムシ

草刈をされていて何か赤い色の虫がこぼれました。綺麗な色だったので探しますと他にもいるのが目に入りました。かって見たことがなかったので、取り敢えずデジカメで撮影しました。2015年8月26日11時21分でした。

帰宅して調べましてマダラナガカメムシであることが判明しました。図鑑「札幌の昆虫」には5～9月に出現、大きさは10～13mm、場所的には平地～山地のキク科に多い、とだけしか記載がありません。ネットでいろいろ当たりましたが、分布は北海道、東北ぐらいしかわかりません。カメムシたちは捕まえたりすると独特の嫌な臭いを発



しますので、個人的には敬遠しますが、奇抜な模様や美しい色づかいの美虫たちが仲間うちにいますので、嫌いではありません。美しく目立つのは警戒色と思いますが、そいつらは臭いを出さないものが多いらしいのです。自分自身の色使いに自信があるのでしょうか。時として大発生することがあって神居古譚駅で列車をスリップさせたことがあったそうです。



ネットで見つけた美しいカメムシを3種紹介します。左がジンメンカメムシ(東南アジア産)、中がナナホシキンカメムシ(沖縄産)、右はニシキンカメムシ(日本産)です。こんな連中にであつたら掴まえるにして

も手かふるえてしまうことでしょう。

この日の有明の森での作業は本隊が刈払い機でのチシマザサ刈りでほぼ計画区域を刈り終えました。チップーでの刈りササの粉碎はまだまだ続きます。特に夏草の下で先年撒いたハルニレの一年生の稚樹がたくさん芽生えているのは嬉しいことでした。これからどう育つのか楽しみであります。

有明の森は、当協会発足直後の2002年6月12日に希望者を募って最初に下見した場所で、「森ボラ通信」号外として報告した記念すべき場所です。第一段階はトドマツ人工林の整理伐でした。立ち枯れ樹、掛かり樹や被圧樹を伐採していましたが、2004年の9月の18号台風により、多くの成樹が薙倒されまして、それらの整理に多くの時間と労力をかけることになりました。第二段階は天然林内の倒木を処理しました。第三段階として取り組んだのが現在進行中の笹地の還林です。チシマザサの密生地を刈り払う作業は困難を極めますが、試験的に挑んだ結果で見通しがつきましたので、全面還林を目指しているところです。